

飯田下伊那出身の音楽ユニット、
グリムspanキーが歌う“ワンピース”の映画主題歌が
この夏、全国の映画館で流れています。



GLIM SPANKY × ONE PIECE FILM GOLD

2016年夏 最強タッグ映画公開記念

撮影=萩庭桂太(豊丘村にて)



Photo by YASUTOSHI SAWANO

「ONE PIECE」作者、尾田栄一郎の指名で決まった運命の音楽

雑誌「週刊少年ジャンプ」で約20年にわたって連載が続くONE PIECE (ワンピース) は単行本の累計発行部数が全世界で3億2千万部以上とされ、2015年末にはギネス世界記録にも認定されている“超”がつくほどの人気コミック。その映画版シリーズ13作目「ONE PIECE FILM GOLD」の主題歌を担当しているのが、飯田市と豊丘村出身の男女二人組音楽ユニット、グリムspanキーだ。映画版ONE PIECEシリーズのこれまでの主題歌は氣志團、NEWSなどの人気グループに続き、ドリームズ カム トゥルー、ミスターチルドレン、米国女性歌手アブリル・ラヴィーンといった大物ミュージシャンも担当してきた。グリムspanキーのメジャーデビュー後の活動歴は、まだわずか2年。そんな新人ユニットが、同シリーズ最新作となる今回の主題歌を担当することは快挙といえる。

「この声が欲しかった」一。原作者・尾田栄一郎氏の熱望と推薦を受け、グリムspanキーの主題歌への^{はってき}抜擢は決まった。尾田氏はラジオで二人の曲を聞いて以来、その力強いサウンドをとて気に入っていたという。7月23日から全国一斉公開の同映画作品内で、書き下ろしの新曲「怒りをくれよ」が主題歌として使用されている。

~グリムspanキーって誰だ~

WHO IS GLIM SPANKY?

飯田市と豊丘村出身の男女音楽ユニット、グリムspanキーを知っていますか？松川高校でのユニット結成を経て2014年6月にメジャーデビューを果たして以来、次々とCDや配信楽曲を発売。全国ライブツアー、テレビ出演、映画への音楽提供などでも大活躍中の二人組です。この夏、全国一斉公開の超大作アニメ映画「ワンピース フィルム ゴールド」でも主題歌を担当。一気にスターダムを駆け上がる二人の今後の活躍に注目です。



松尾レミ
Remi Matsuo

ヴォーカル、ギター、作詞作曲担当。
1991年12月7日、下伊那郡豊丘村出身。
洋楽やサブカルチャーに詳しい父親の影響で幼少期から音楽と美術に親しむ。
松川高校1年時にグリムspanキー結成。アートワークとデザインも手掛ける。



GLIM SPANKY グリムspanキー

ロックとブルースを基調にしながらも、新しさを感じさせるサウンドを鳴らす男女2人組新世代ロックユニット。ハスキーで圧倒的存在感のヴォーカルと、ブルージーで感情豊かなギターが特徴。ライブではサポートメンバーを加えて活動中。

【グリムspanキー語録】

名前の由来

“GLIM”（グリム＝灯火、かすかな光り）という幻想的なイメージの言葉と、“SPANK”（spank＝平手打ち）という攻撃的な要素を持った言葉を掛け合わせました。すると曲も自然とそういう雰囲気になりました。この名前が私たちの方向性を決定付けてくれた。 —松尾レミ

原点

私は保育園に入る前から画家を志していました。でも17歳の時に「美大に入って音楽活動をするのが目標です」と宣言したら、周囲から嘲笑を受けたんです。その時、悲しさや怒りを通り越して、「夢を持つことは間違っていないんだ」ということを、何か形にして伝えなければという思いにかられた。 —松尾レミ

音楽性

彼女（松尾レミ）の世界観を、洗練された音楽アレンジで鳴らしたい。オールドロックの雰囲気を持ちながらも、それだけに縛られずに、現代的なサウンドで表現していきたいんです。 —亀本寛貴



亀本寛貴
Hiroyuki Kamemoto

ギター担当。
1990年8月4日、飯田市座光寺出身。
中学時代まではサッカーに熱中するスポーツ少年だった。松川高校2年時に結成直後のグリムspanキーへ加入。ブルージーなロックフィーリング・ギターで松尾レミの世界観を支え続ける。

【HISTORY】

2007年 松川高校の1年生だった松尾レミが呼びかけ、同校2年の亀本寛貴らと4人組ロックバンド、グリムspanキーを始動。

2009年 10代限定の音楽コンテスト「閃光ライオット09」で、全国5500組の中から14組に絞り込まれた決勝大会に進出。1万人の観客を前に東京ビックサイトで演奏。

2010年 松尾レミ、日本大学芸術学部へ進学。亀本寛貴も愛知県内の大学から獨協大学へ転学。2人組となったグリムspanキーの東京都内での活動を本格化させる。

2014年 ユニバーサルミュージックからミニアルバム「焦燥」を発売し、メジャーデビュー。松尾レミが歌うカバー曲「MOVE OVER」がスキ「ワゴンRステイティングレー」のテレビCMで流れ、独特な歌声に注目が集まる。

2015年 2月、テレビドラマ「太鼓持ちの達人〜正しい××のほめ方〜」の主題歌、「褒めろよ」をシングル曲として発売。

7月、アルバム「SUNRISE JOURNEY」発売。

2016年 1月、ミニアルバム「ワイルド・サイド」を行く」発売。7月20日、最新アルバム「Next One」発売。7月23日から全国一斉公開のアニメ映画「ONE PIECE FILM GOLD」の主題歌に新曲「怒りをくれよ」が使用される。



最新アルバム「Next One」も発売し、勢いに乗る二人

地域の若者たちへ

大きな夢を抱こう。やればできる。

“松尾レミは中学生のころから、歌声だけでなく、その意志の強さも際立っていました。1970年代までの“ロック黎明期”を知るわれわれの世代にとっては、レミの歌う力強い歌やグリムspanキーの荒々しいサウンドは懐かしく、また頼もしい存在です。これからの二人の活躍が地元若者たちにとっての大切な道しるべになってほしい。そんなふうにも願っています”

IIDA WAVEヘッドプロデューサー、ライブハウスCANVAS代表 桑原利彦



飯田下伊那を原点に旅立ち、めざましい活躍を遂げるグリムspanキー。「世界へ出ていく」と思いを語り、さらに大きな成功に向かって前進中です。夢に向かって努力する若者たちのひたむきな姿を、地元の私たちはこれからも応援し続けます。

飯田市 豊丘村